

## ETAS and Lynx Software Technologies Collaborate

# ETAS と Lynx Software Technologies 社が協業

ETAS と Lynx Software Technologies 社は、次世代のコネクテッドカーや自律走行車のニーズに対応できる、安全でセキュアな ECU プラットフォームの技術を共同で提供していきます。これにより、セーフティクリティカルなアプリケーションの開発に最高水準のサイバーセキュリティが加わり、自動車業界に新たな可能性をもたらします。次世代のコネクテッドカーや自律走行車の場合、「EE アーキテクチャ」として高性能のドメインコントローラ (DC-ECU) や車載コンピュータ (VC-ECU) を導入する必要があります

が、適応性に優れ充実したソフトウェアプラットフォームを備える高性能のマイクロプロセッサを採用したこれらの ECU は、安全性、セキュリティ、リアルタイム性における難題を抱えているうえ、一般的なプラットフォームとの統合も可能でなければなりません。ETAS と Lynx Software Technologies 社が提供するソリューションは、このような DC/VC ECU に必要とされる安全でセキュアな信頼性の高いソフトウェア基盤を実現します。

## STMicroelectronics 社、 ETAS、ESCRYPT: コネクテッドカーのための セキュアアプリケーション

### STMicroelectronics, ETAS, and ESCRYPT: Secure Applications for Connected Cars

ETAS と ESCRYPT は、電子制御アプリケーション用半導体の世界的メーカーである STMicroelectronics 社 (New York Stock Exchange: STM) との協業で、コネクテッドカー時代に即した新しい車両制御装置の開発を高速化する、マイクロコントローラ、ソフトウェアツール、およびセキュリティソリューションで構成される完全なプラットフォームの提供を目指しています。このプラットフォームにより、各種ネットワークを介した車両へのアクセスを可能にしながら、車両所有者のプライバシーや OEM の知的財産権、ECU 機能などの高度な保護を実現するセキュア ECU を構築することができます。

この共同ソリューションでは、電力効率が高くリアルタイム制御に対応できる STMicroelectronics 社の SPC58 シリーズの車載用マイクロコントローラを採用しています。このマイクロコントローラはハードウェアセキュリティモジュール (HSM) を内蔵し、最新式の通信インターフェース (CAN FD、LIN、FlexRay、タイムスタンプ機能付き Ethernet など) を搭載しています。またセキュアエレメントやエンベデッド SIM (Subscriber Identity Modules) などより、ECU やゲートウェイに対するインターネット経由の攻撃からも防御できます。一方、ESCRYPT は OTA (Over-The-Air: 無線) ソフトウェアアップデートなどのセキュア ECU 用通信技術を結集し、SPC58 HSM 用のファームウェアやミドルウェアも提供しています。HSM と ESCRYPT のセキュリティ技術とが一体となって、信頼できるソースを認証し、不正アクセスを阻止します。オペレーションシステムには、ECU コード用リアルタイム OS として定評のある ETAS の RTA ソフトウェアを採用しており、さらに RTA-BSW (基本ソフトウェア) を補完する ISOLAR-A ツールや ISOLAR-EVE ツールを使用することにより、仮想環境で ECU ソフトウェアスタック全体の構築とテストを行うこともできます。

## ESCRYPT が Renesas Electronics 社と 協業

### ESCRYPT Collaborates with Renesas Electronics

先進の半導体ソリューションにおいて世界をリードする Renesas Electronics Corporation が ETAS の子会社 ESCRYPT と共同で、自動運転用の複雑な車載アプリケーションにセキュリティ機能を統合するための新しいプラットフォームソリューションを開発しています。ここでハードウェアプラットフォームとして採用しているのは、機能安全、セキュリティ、車両制御ネットワークなどの技術をワンチップに結集した Renesas 社の車載用セーフティマイクロコントローラ RH850/P1x-C シリーズで、ソフトウェアプラットフォームとしては ESCRYPT のハードウェアセキュリティモジュール用セキュリティソフトウェアスタックの CycurHSM を採用しています。この新しいプラットフォームソリューションにより、非常に複雑な車載セキュリティ機能の実装と開発時間の短縮が実現できるので、安全機能とセキュリティ機能の統合が加速され、全自動運転の実現への足がかりとなることでしょう。

執筆者

**Anja Krahl**  
ETAS GmbH  
プレス・広報担当  
上級マネージャ